

流 福 審 第 ● 号  
令和 5 年 10 月 10 日

流山市長 井崎 義治 様

流山市福祉施策審議会  
会長 鎌田 洋子

（仮称）流山市重層的支援体制整備事業実施計画の策定  
について（答申）

令和 5 年 6 月 1 日付け流社第 151 号で諮問のあったこのことについて、下記のとおり答申します。

記

- 1 生活上の困難や生きづらさを抱える方の中には、複数の課題を抱えて支援を必要とされている方がいます。これらの方を支えるため、既存の制度による属性ごとの対応だけではなく、困りごと全体をとらえて継続的に寄り添っていく体制の構築を進めてください。
  - （1）事業の実施にあたっては、**新しく多機関協働事業の窓口を設置するとともに、**これまで相談活動を行ってきた多くの機関との連携を活かしつつ、さらに連携を強化する新しい体制を構築してください。多くの困難を抱える市民に寄り添って継続的に支援する仕組みづくりを望みます。
  - （2）全庁的に縦割りの弊害を排するため、研修体制を新たに構築し、職員の意識改革と相談職員のスキルアップを目指してください。
  - （3）**本計画については、定期的に進捗状況の把握、点検、評価を行い、必要な見直しを行ってください。**
- 2 困難な状況に陥っている方に対し制度の狭間を埋める支援が求められている中、この事業が開始されることは大変意義深いことです。市民に分かりやすいよう、この事業の名称を再度検討し、内容を周知してください。

**※下線部**は前回答申（案）から変更・追記のあった部分